

## 8 リテラシー教育の実績

### (1) 図書館活用法※1 \* 半期 2 単位 (駿河台: 前期, 生田: 後期, 中野: 後期, 和泉: 2006 年より前期・後期に開講)

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	履修者数	89	116	107	43	57	50	73	67	36
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	14(11)	14(11)	14(11)	14(10)	12(9)	14(10)	15(11)	15(13)	15(11)
	担当講師数 ※3	14(12)	14(12)	14(11)	13(10)	13(11)	13(9)	14(10)	14(10)	15(12)
和泉図書館	履修者数	258	252	302	262	231	253	244	240	315
	開講数	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	授業回数 ※2	56(44)	56(44)	56(44)	56(40)	52(38)	56(40)	60(44)	58(42)	56(40)
	担当講師数 ※3	21(17)	21(17)	22(18)	25(22)	27(23)	24(22)	24(22)	29(27)	27(25)
生田図書館	履修者数	152	60	56	42	30	36	26	36	29
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	14(11)	14(10)	14(10)	13(9)	14(10)	14(10)	15(10)	15(10)	15(10)
	担当講師数 ※3	8(5)	10(6)	10(6)	9(6)	10(7)	9(6)	9(6)	10(6)	9(6)
中野図書館	履修者数							11	10	16
	開講数							1	1	1
	授業回数 ※2							15(10)	15(10)	14(10)
	担当講師数 ※3							8(5)	8(5)	7(5)
履修者総数		499	428	465	347	318	339	354	353	396

※1 2000 年開講

※2 カッコ内の数字は職員が担当した回。ただし、教員とともに担当した回は除く。

※3 複数のキャンパスを担当した場合はそれぞれに計上。カッコ内の数字は職員。

### (2) ゼミツアー \* フリーツアー (すべての利用資格者対象) 含む

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数	109	102	89	81	59	62	62	56	61
	履修者数	1,278	1,137	1,035	905	689	851	714	617	620
和泉図書館	回数	157	181	178	153	139	263	195	170	169
	履修者数	2,761	3,055	2,850	2,738	2,221	3,278	2,864	2,741	2,999
生田図書館	回数	4	25	33	31	28	38	25	21	18
	履修者数	38	267	237	202	163	184	167	218	211
中野図書館	回数							28	21	20
	履修者数							396	255	265

### (3) 出前講義 \* 「図書館活用法」を除く教室授業、図書館以外施設授業など

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数									
	履修者数									
和泉図書館	回数	5	3	3	0	0	0	0	0	0
	履修者数	154	105	65	0	0	0	0	0	0
生田図書館	回数	2	14	10	12	8	8	8	8	10
	履修者数	213	262	380	443	294	300	286	286	422
中野図書館	回数							3	2	2
	履修者数							22	30	40

**(4) 各種講習会** \* 情報・文献検索講習会, DB 講習会, テーマ別講習会, グループガイダンスなど

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数	48	26	22	28	26	19	19	20	18
	参加者数	324	148	264	269	296	221	196	222	190
和泉図書館	回数	0	0	10	35	45	59	51	40	22
	参加者数	0	0	114	486	283	397	260	384	291
生田図書館	回数	2	9	11	13	17	22	10	23	8
	参加者数	16	478	158	118	137	71	200	197	121
中野図書館	回数							17	23	10
	参加者数							80	68	84

**(5) オリエンテーション** \* 新入生, 新任教員, 三年次, 留学生など

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数	8	8	8	9	6	8	8	13	12
	参加者数	1,592	1,548	1,548	1,501	1,076	1,404	1,132	970	893
和泉図書館	回数	9	11	14	13	15	12	8	8	7
	参加者数	4,166	5,723	5,725	5,864	5,486	5,232	4,987	5,196	5,677
生田図書館	回数	6	9	6	4	4	4	4	4	6
	参加者数	659	820	1,658	1,585	1,683	1,640	1,632	1,698	1,595
中野図書館	回数							6	5	5
	参加者数							890	627	665

**(6) 見学・視察** \* 各種団体, 個人, 学校など

		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中央図書館	回数 ※1	103	136	121	148	129	140	134	100	95
	参加者数	3,137	2,596	3,136	3,752	3,470	3,785	4,088	3,229	3,108
和泉図書館	回数 ※1	50	63	20	7	13	118	118	140	91
	参加者数	59	450	815	162 (303)※2	491	3,502	2,099	3,791	2,134
生田図書館	回数 ※1	11	13	4	1	0	1	0	0	3
	参加者数	238	633	706	591	312	532	232	285	2,972
中野図書館	回数 ※1							43	31	13
	参加者数							2,083	1,638	3,089

※1 個人での見学は含まない

※2 カッコ内の数字は建物外からの概要説明のみ

# 学部間共通総合講座「図書館活用法」

## 《春学期》

図書館活用法		コーディネーター
		経営学部 森 久
駿河台キャンパス	2単位 半期(春学期)	木曜日 2 時限
<b>1 授業の概要・到達目標</b>		
1. 図書館の収蔵、施設、サービスを理解し、また図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)		
2. さまざまな情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)		
3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リテラシー)		
4. 総務活動に役立つ企画立案等を実現できるようになります。		
<b>2 程・テーマ・担当者</b>		
① 4月16日	ガバイング(講座の概要、成績評価方法等の説明)、 大学図書館への招待	経営学部専任教授 森 久 図書館職員 伊能 秀明
② 4月23日	図書館総合利用法	図書館職員 小野 駿・宮澤 順子 小倉 葵子・永田 由香利
③ 4月30日	レポート・論文の書き方	経営学部専任准教授 長野 史暉
④ 5月 7日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一
⑤ 5月14日	読書を愉しむ	経営学部専任教授 宇野 級
⑥ 5月21日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久松 薫子
⑦ 5月28日	文献・情報の探し方(2)図書 【演習】	図書館職員 宮澤 順子・久松 薫子
⑧ 6月 4日	文献・情報の探し方(3)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 平田 さくら・杉谷 美和
⑨ 6月11日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 平田 さくら・杉谷 美和
⑩ 6月18日	文献・情報の探し方(5)フレンチ語資料【演習】	図書館職員 小倉 葵子・久松 薫子
⑪ 6月25日	文献・情報の探し方(6)専門情報・新聞【演習】	図書館職員 小倉 葵子・久松 薫子
⑫ 7月 2日	文献・情報の探し方(7)インターネット 【演習】	図書館職員 角 祐二郎 メディア支援職員 篠 直之
⑬ 7月 9日	検索技術の向上 【演習】	図書館職員 小野 駿・梅田 順一
⑭ 7月16日	文献・情報の探し方(8)まとめ 【演習】	図書館職員 関口 則枝・平田 さくら
⑮ 7月23日	総括:総合演習 【演習】	経営学部専任教授 森 久 図書館職員 関口 則枝・平田 さくら
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>		
教員と専門の図書館員がそれぞれのテーマを分担します。講義と演習は有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できません。		
<b>4 教科書</b>		
教材として印刷資料を配布します。		
<b>5 参考書</b>		
大野友和編『大学図書館がピロりかわら本: 学生のための図書館活用法』(2005, 日本国書館協会, ISBN9784820405009) 小笠原嘉慶著『大学生のためのレポート・論文術』新版(2009, 湿潤社, ISBN9784062880213) 佐藤竜雄著『アカデミックスキル』大学生のための技術入門 第2版(2012, 廉嶽美術大学出版会, ISBN9784766419603) 吉野裕也著『データベース検索を教える本』上巻(2008, 湿潤社, ISBN9784062880474) 高橋裕著『デジタル情報資源の検索』増訂第4版(2012, 日本国書館協会, ISBN9784820412144) 松本勝久著『情報検索入門ハンドブック: データベース, Web, 図書館の利用法』(2008, 勉誠出版, ISBN9784585071242)		
<b>6 成績評価の方法</b>		
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。		
<b>7 その他</b>		

図書館活用法		コーディネーター
		法学院 鈴木 哲也
和泉キャンパス	2単位 半期(春学期)	火曜日 3 時限
<b>1 授業の概要・到達目標</b>		
1. 図書館の収蔵、施設、サービスを理解し、また図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)		
2. 様々な情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)		
3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リテラシー)		
<b>2 程・テーマ・担当者</b>		
① 4月14日	講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学院専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子
② 4月21日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久松 薫子
③ 4月28日	レポート・論文の書き方	法学院専任准教授 鈴木 哲也
④ 5月12日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和
⑤ 5月19日	書物の愉しみ	法学院専任教授 田島 正行
⑥ 5月26日	文献・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 江 熊・原口 尚大
⑦ 6月 2日	文献・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 江 熊・原口 尚大
⑧ 6月 9日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 曽野 正士・森原 理恵
⑨ 6月16日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 曽野 正士・森原 理恵
⑩ 6月23日	文献・情報の探し方(6)フレンチ語資料【演習】	図書館職員 信一・畠野 薫子
⑪ 6月30日	文献・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 小野 啓・畠野 薫子
⑫ 7月 7日	文献・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	メディア支援職員 井上 拓弥 図書館職員 原口 尚大
⑬ 7月14日	文献・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 折戸 晶子・柴尾 晋 法学院専任准教授 鈴木 哲也
⑭ 7月21日	総括:総合演習 【演習】	図書館職員 折戸 晶子・豊浦 朝子
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>		
教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習は有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できません。		
<b>4 教科書</b>		
教材は印刷資料を配布する。		
<b>5 参考書</b>		
大野友和編『大学図書館がピロりかわら本: 学生のための図書館活用法』(2005, 日本国書館協会, ISBN9784820405009) 小笠原嘉慶著『大学生のためのレポート・論文術』新版(2009, 湿潤社, ISBN9784062880213) 佐藤竜雄著『アカデミックスキル』大学生のための技術入門 第2版(2012, 廉嶽美術大学出版会, ISBN9784766419603) 吉野裕也著『データベース検索を教える本』上巻(2008, 湿潤社, ISBN9784062880474) 高橋裕著『デジタル情報資源の検索』増訂第4版(2012, 日本国書館協会, ISBN9784820412144) 松本勝久著『情報検索入門ハンドブック: データベース, Web, 図書館の利用法』(2008, 勉誠出版, ISBN9784585071242)		
<b>6 成績評価の方法</b>		
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。		
<b>7 その他</b>		

図書館活用法		コーディネーター
		法学院 鈴木 哲也
和泉キャンパス	2単位 半期(春学期)	火曜日 5 時限
<b>1 授業の概要・到達目標</b>		
1. 図書館の収蔵、施設、サービスを理解し、また図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)		
2. 様々な情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)		
3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リテラシー)		
<b>2 程・テーマ・担当者</b>		
① 4月14日	講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学院専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子
② 4月21日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 曽野 正士
③ 4月28日	レポート・論文の書き方	法学院専任准教授 鈴木 哲也
④ 5月12日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一
⑤ 5月19日	書物の愉しみ	法学院専任教授 田島 正行
⑥ 5月26日	文献・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 松 並 康子・浅野 京子
⑦ 6月 2日	文献・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 松 並 康子・浅野 京子
⑧ 6月 9日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 吉田 千草・小倉さんえ
⑨ 6月16日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 吉田 千草・小倉さんえ
⑩ 6月23日	文献・情報の探し方(6)フレンチ語資料【演習】	図書館職員 宮澤 順子・豊浦 朝子
⑪ 6月30日	文献・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 柴尾 晋・鈴木 賢一
⑫ 7月 7日	文献・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	図書館職員 研田 賢一・角 祐二郎
⑬ 7月14日	文献・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 豊浦 朝子・齋木 信一
⑭ 7月21日	総括:総合演習 【演習】	法学院専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・齋木 信一
<b>3 履修上の注意点・準備学習の内容</b>		
教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習は有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できません。		
<b>4 教科書</b>		
教材は印刷資料を配布する。		
<b>5 参考書</b>		
大野友和編『大学図書館がピロりかわら本: 学生のための図書館活用法』(2005, 日本国書館協会, ISBN9784820405009) 小笠原嘉慶著『大学生のためのレポート・論文術』新版(2009, 湿潤社, ISBN9784062880213) 佐藤竜雄著『アカデミックスキル』大学生のための技術入門 第2版(2012, 廉嶽美術大学出版会, ISBN9784766419603) 吉野裕也著『データベース検索を教える本』上巻(2008, 湿潤社, ISBN9784062880474) 高橋裕著『デジタル情報資源の検索』増訂第4版(2012, 日本国書館協会, ISBN9784820412144) 松本勝久著『情報検索入門ハンドブック: データベース, Web, 図書館の利用法』(2008, 勉誠出版, ISBN9784585071242)		
<b>6 成績評価の方法</b>		
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。		
<b>7 その他</b>		

《秋学期》

図書館活用法		コーディネーター 法学部 鈴木 哲也
和泉キャンパス		火曜日 3 時限
2単位 半期(秋学期)		
<b>授業の概要・到着日目録</b>		
1 授業の概要		
1. 図書館の運営、施設、サービスを理解し、また、図書や資料の意義を理解することにより、図書館を総合的に目的に応じて適切に利用できるようになる(図書館リテラシー)		
2. 球体構造、文献、資料の種類等特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになる(情報リテラシー)		
3. 入手した情報、文献、資料を適切に整理し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになる(学術リテラシー)		
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>		
① 9月17日	講座の概要、成績評価方法等の説明;大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子
② 10月 6日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 吉田 千草
③ 10月13日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也
④ 10月20日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和
⑤ 10月27日	書物の榆しみ	法学部専任教授 田島 正行
⑥ 11月10日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 松井 康子・原口 尚大
⑦ 11月17日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 松井 康子・原口 尚大
⑧ 11月24日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 吉田 千草・桑原 理恵
⑨ 12月 1日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 吉田 千草・桑原 理恵
⑩ 12月 8日	文献・情報の探し方(6)リテラリエス資料【演習】	図書館職員 宮澤 順子・小倉 葉子
⑪ 12月15日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 小野 啓・柴尾 晋
⑫ 12月22日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 メディア支援職員 井上 拓弥 図書館職員 角 伸二郎
⑬ 1月12日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 折戸 晶子・門口 則枝
⑭ 1月19日	総括:総合演習	【演習】 法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 門口 則枝・鈴木 信一
<b>履修上の注意点・準備学習の内容</b>		
教員と専門図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、論文授業は、情報基本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていると受講できます。		
<b>4 教科書</b>		
教材は印刷資料を配布いたします。		
<b>5 参考書</b>		
大野千和編『図書館活用が叶わる本』、学生のための図書館活用法(2005)、日本図書協会、ISBN9734820405009 大野千和編著『大学で楽しく学べる! ポートフォリオ技術入門』(2009)、講談社、ISBN9784062880213 佐藤喜彦編著『カククソズ・スキマズ』、大学生たちのための技術入門(第2版)(2012)、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603 佐藤喜彦編著『データベース技術基礎の検索』(第4版)(2012)、日本図書協会、ISBN9784304121444 松久保利司『情報検索入門+ドック: データベース、Web、図書館の利用法』(2008)、勉誠出版、ISBN9784585071242		
<b>6 成績評価の方法</b>		
①平常点(50%)、②合宿テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。		
<b>7 その他</b>		

図書館活用法		コーディネーター 法学部 鈴木 哲也
和菓子キャンバス		火曜日 5 時限
<b>授業の概要・目的</b>		
1 授業の概要・目的		
1. 図書館の概要、設施、サービスを理解し、また、図書や資料の意義を理解することにより、図書館を総合的により効率的に利用できるようになります(参考資料アドバイス)		
2. 様々な情報、文献、資料の種類と特徴を理解し、自らに適した方法で検索、入手、利活用できるようになります(情報リテラシー)		
3. 入門的知識、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります(学術リテラシー)		
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>		
① 9月29日	講座の概要、成績評価方法等の説明;大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子
② 10月 6日	文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 稲田 賢一
③ 10月13日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也
④ 10月20日	図書館と著作権	図書館職員 平田 さくら
⑤ 10月27日	書物の探し方	法学部専任教授 田島 正行
⑥ 11月10日	文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 たか 美代子・浅野 京子
⑦ 11月17日	文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 たか 美代子・浅野 京子
⑧ 11月24日	文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 小林 純一・曾野 正士
⑨ 12月 1日	文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 小林 純一・曾野 正士
⑩ 12月 8日	文献・情報の探し方(6)リファレンス資料【演習】	図書館職員 豊満 朝子・細野 薫子
⑪ 12月15日	文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 稲田 賢一・齋木 信一
⑫ 12月22日	文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 稲田 賢一・原口 尚大
⑬ 1月 12日	文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 豊満 朝子・齋木 信一
⑭ 1月19日	総括・総合演習	【演習】 法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・豊満 朝子
<b>履修上の注意・準備学習の内容</b>		
教員と部門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にシナリオを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基本技能が実践するMIND利用講習会を事前に受けないと受講できません。		
<b>教材料</b>		
教材料は印刷資料を配布する。		
<b>参考文献</b>		
大野久輔『図書館文化がゼロからわかる本』、学生のための図書館活用法(2005)、日本図書協会、ISBN9784820405069 小笠原雅康編著『大学生がためるレポート・論文術』新版(2009)、講談社、ISBN9784062880213 佐藤義典著『アカデミック・スタイル』、大学生がための知識の活用入門(2012)、鹿児島県立大学出版会、ISBN9784766419603 高橋裕司著『データベース検索』(2007)、日本評議社、ISBN9784871450747 高橋裕司著『データベース検索入門』(2012)、日本評議社、ISBN9784871451244 松本勝久著『情報検索入門ハンドブック: データベース、Web、図書館の活用法』(2008)、黒鶴出版、ISBN9784585071242		
<b>6 成績評定の方法</b>		
①平常点(50%)、②合計(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。		
<b>7 その他</b>		

図書館活用法		コーディネーター 農学部 小倉 信夫
生田キャンパス	2単位 半期(秋学期)	金曜日 5 時限
<b>1 授業の概要・目的</b>		
1. 図書館の運営、規約、サービスを理解し、図書や資料の意義を理解するように、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)		
2. さまざまな書籍、文献、資料の種類と特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)		
3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート・論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リテラシー)		
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>		
① 9月25日	講座の概要、成績評価方法等の説明;大学図書館への指導	農学部専任教授 小倉 信夫 図書館職員 高橋 美子
② 10月2日	読書の愉しみ	農学部専任教授 小倉 信夫
③ 10月 9日	レポート・論文の書き方 ～分かってから書く方が分かってないポイントをつかむ！～	理工学部専任教授 宮原 哲雄
④ 10月16日	図書館の著作権 ～きちんと知識でレポートを書くために～	情報コミュニケーション学部専任准教授 今村 皆也
⑤ 10月23日	文献・情報の探し方(1) 概論 ～探し見つけ手に入れる、全体を見わたす～	図書館職員 西脇 亜由子
⑥ 10月30日	図書館の著作権 ～きちんと知識でレポートを書くために～	【演習】 図書館職員 平田 さくら
⑦ 11月 6日	文献・情報の探し方(2) 図書 ～図書館の資源への第1歩！～	【演習】 図書館職員 小林 純一
⑧ 11月13日	文献・情報の探し方(3) 電子書籍 ～電子書籍で読み分かれればクサウケ検索～	【演習】 図書館職員 小倉 なえ
⑨ 11月20日	文献・情報の探し方(4) 電子資料 ～電子書籍で読み分かれればクサウケ検索～	【演習】 図書館職員 小林 純一
⑩ 11月27日	文献・情報の探し方(5) リンクアソシエーション資料 ～網羅的に使える！いろいろな情報～	【演習】 図書館職員 西脇 亜由子
⑪ 12月 4日	文献・情報の探し方(6) 専門情報・新聞 ～理系なのに見立つ！見立つ！～	【演習】 図書館職員 小倉 なえ
⑫ 12月11日	文献・情報の探し方(7) インターネット ～ネットで使うと情報が増す～	【演習】 図書館職員 角 祐二郎
⑬ 12月18日	検索技術の向上 ～まだある検索の世界～	【演習】 図書館職員 西脇 亜由子
⑭ 1月 8日	文献・情報の探し方(8)まとめ	【演習】 図書館職員 西脇 亜由子
⑯ 1月15日	総括・総合演習	【演習】 農学部専任教授 小倉 信夫 図書館職員 西脇 亜由子
<b>3 授修上の注意点・準備する内容</b>		
授修中の運営規則が記載される本、学生のための授業運営活用法(2005)、日本図書館協会、ISBN9784820405099		
小原基輔著「大学のためのアホな図書館活用講座」(2009)、講談社、ISBN9784063860213)		
佐藤厚志著「カミツルスマックス」: 大学のための情報技術入門第2版(2012)、農業政策立学会出版、ISBN9784766419603)		
西脇樹樹子著「アホな...」: 単行本「書評: 著者のために」(2007)、共立出版、ISBN9784320050747)		
日本図書館協会編著「検索基礎知識 第4版(2010)」、日本図書館協会、ISBN9784820412147)		
佐藤厚志著「カミツルスマックス」: 大学のための情報技術入門第2版(2012)、Web、図書館利用案内(2008)、駒場出版、ISBN9784585071242)		
<b>4 教科書</b>		
教材は印刷資料を配布する。		
<b>5 参考書</b>		
中野正人著「大学図書館がゼロからわかる本」、学生のための授業運営活用法(2005)、日本図書館協会、ISBN9784820405099		
小原基輔著「大学のためのアホな図書館活用講座」(2009)、講談社、ISBN9784063860213)		
佐藤厚志著「カミツルスマックス」: 大学のための情報技術入門第2版(2012)、農業政策立学会出版、ISBN9784766419603)		
西脇樹樹子著「アホな...」: 単行本「書評: 著者のために」(2007)、共立出版、ISBN9784320050747)		
日本図書館協会編著「検索基礎知識 第4版(2010)」、日本図書館協会、ISBN9784820412147)		
佐藤厚志著「カミツルスマックス」: 大学のための情報技術入門第2版(2012)、Web、図書館利用案内(2008)、駒場出版、ISBN9784585071242)		
<b>6 成績評定の方法</b>		
① 実地点検(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断します。		
<b>7 学生の権利</b>		

図書館活用法			コーディネーター
中野キャンパス		2単位 半期(秋学期)	国際日本学部 美濃部 仁
		水曜日 3 時限	
<b>授業の概要・到達目標</b>			
1. 図書館の基本、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を効率的かつ目的に応じて適切に利用できるようにになります。(国際リテラシー)			
2. さまざまな情報、文獻、資料の種類と特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)			
3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学術リラシー)			
<b>2 日程・テーマ・担当者</b>			
① 9月30日	講座の概要、成績評価方法等の説明;大学図書館への招待	国際日本学部専任教授 美濃部 仁	図書館職員 久保木 和義
② 10月 7日	文獻・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久保木 和義	
③ 10月14日	レポート・論文の書き方	国際日本学部専任教授 美濃部 仁	
④ 10月21日	図書館の楽しみ	総合教養学部専任教授 砂田 利一	
⑤ 10月28日	図書館と著作権	図書館職員 柿田 順一	
⑥ 11月 4日	文獻・情報の探し方(2)図書① 【演習】	図書館職員 畑野 嶺子	
⑦ 11月11日	文獻・情報の探し方(3)図書② 【演習】	図書館職員 菊池 寛一	
⑧ 11月18日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文① 【演習】	図書館職員 榎尾 晋	
⑨ 11月25日	文獻・情報の探し方(5)雑誌論文② 【演習】	図書館職員 榎尾 晋	
⑩ 12月 2日	文獻・情報の探し方(6)レフレンス資料【演習】	図書館職員 畑野 嶺子	
⑪ 12月 9日	文獻・情報の探し方(7)新聞 【演習】	図書館職員 久保木 和義	
⑫ 12月16日	文獻・情報の探し方(8)インターネット 【演習】	図書館職員 久保木 和義	
⑬ 1月13日	文獻・情報の探し方(9)まとめ 【演習】	図書館職員 畑野 嶺子	
⑭ 1月 20日	総括・総合演習 【演習】	国際日本学部専任教授 美濃部 仁	図書館職員 久保木 和義
<b>授業上の注意点・準備学習の内容</b>			
教員と部門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)上演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基本部が実施するMUNI利用講習会を事前に受けないと受講できません。			
<b>4 教科書</b>			
教材なし。印刷資料を配布する。			
<b>5 参考書</b>			
大村友彦著「大学図書館でなぜかわかる本、学生のかぎりの図書館活用法」(2005)、日本図書出版協会、ISBN9784280405009 小原信也著「大学生のかぎりのレポート・論文・論文作成技術」(2009)、講談社、ISBN9784020880131 佐藤邦彦著「アカデミックスキル」、大学生のための知識技術」(門)第2版(2012)、慶應義塾大学出版会、ISBN9784768419603 斎藤浩著「アカデミックスキル」、学者を目指す人のための知識技術」(門)第2版(2012)、慶應義塾大学出版会、ISBN9784232055747 松井和也著「アカデミック・リテラシー」、図書館の基礎知識を體験・若者たちのために(2012)、日本図書出版協会、ISBN9784280405009 林本松著「若者情報検索入門ハンドブック:データベース、Web、図書館の利用方法」(2005)、朝林出版、ISBN9784585012142)			
<b>6 成績評定の方法</b>			
①平常点(50%)、②結合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。			
<b>7 その他</b>			